

# 学生卒業設計制作NCF空間ディスプレイアワード受賞作品

受賞年	2023年	
受賞タイトル	奨励賞	
区分	IV. 都市ディスプレイデザイン	
フリガナ	マシオ リョウヤ	
制作者名	真塩 凌弥	
フリガナ	トウキョウデンキダイガク ミライカガクブ ケンチクガクカ	
卒業時の大学 学部・学科	東京電機大学 未来科学部 建築学科	
フリガナ	ヒノサシ	職名
推薦者名	日野雅司	准教授
フリガナ	リュウドウスルヨクン	
作品名	流動する余薫	
概要	<p>余薫とは…残香。先人が残した恩恵。                  建築にも利用者の居場所があり、思い出が宿る。                  それは決して失ってはいけない大切な空間である。</p> <h2 style="text-align: center;">流動する余薫</h2>  <p>建築は器であり、人や什器が介入することにより価値が現れる。                  高円寺には価値のある街が広がるが、そこに約80年間眠る都市計画道路が存在する。木造密集地域であるこの地に延焼遮断帯を形成する。街の人は反対し、行政は執行する。こうして2つの意見は対比され、商店街を高層化させるにあたり、双方の意見を尊重しながら、既存建築を残し高層化に向けたフェーズ分け</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>高円寺における建築的雑多空間の定義</b></p>  <p>高円寺の街並みを調査し、“雑多”と呼ばれる要素を抽出する。                      ここでいう“雑多”というのは庇より店舗から出る領域や路地空間などという建築を媒体とした要素だけでなく、人や物が介入することにより発生するマテリアルのような雑多感が見られた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 30%;"> <p>主に顔縁の透れだしによる雑多</p>  <p>建築的に活用することで更に雑多に捉える</p>  </div> <div style="width: 30%;"> <p>階間から溢れ出る雑多の要因</p>  <p>階間への溢れ出し促進 雑多の要因</p> <p>階間への溢れ出し 階間に溢れ出る人</p> <p>庇 開口部 透れ出し 階間 階間</p> </div> </div> </div> <div style="width: 45%;">  <p>フェーズ1: 既存建築                  建物の撤退によるポイド空間の形成</p> <p>フェーズ2: 建物の撤退と結合                  建物の撤退によるポイド空間の形成</p> <p>フェーズ3: 建物の結合と道路の形成                  道路の形成と高層化</p> </div> </div>	

制作者名	真塩凌弥
作品名	流動する余薫

【コンセプト解説】

フェーズ 3 における高層化

階層的にカーテンを用いることで  
空間的に均一感を出す

居酒屋商店街を中に入れ  
空間内に路地空間を作る  
底

本来の商店街のファサード面を保存するために、骨格を挿入し、それに付随する空間での活動は什器などの風景マテリアルをベースとして空間が縦横に拡張される。

外骨格形成による  
意図しない使われ方  
屋根上空間

クリーニングの店舗領域を  
広げ外までラックを出す  
領域から溢れ出る雑多の要因

既存の床を用いて  
スキップフロアに変化させ、  
空間を作る  
雑多の要因

古着屋空間に隣接する  
喫茶店の什器を入れる  
領域から溢れ出る雑多の要因

突き出た梁を古着の  
ラックとして利用する  
意図しない使われ方

古着のラックを用いた  
空間の拡幅  
領域から溢れ出る雑多の要因

食堂に楽器を置くことで  
音を上の階に広げる  
領域から溢れ出る雑多の要因

結合により外壁が内壁  
に変化する  
雑多の要因

本棚が壁代わりになり  
空間を区切る  
雑多の要因

吹抜けを介して視覚的に  
多目的スペースと繋がる

階段として機能  
しなくなった物の新しい用途  
意図しない使われ方

フェーズ 3 アクソメ図

→ 動線  
→ 視線

フェーズ3として、既存の構造体を残し空間を再編する。什器を用いて上下階・左右の建築空間をつないで高円寺らしい領域を拡張していく。そうすることで生まれる雑多な空間は、駄菓子屋の中に図書館があったり、住宅の概念を残した空間の変化を設けるなど、高円寺らしさを建築に落とし込む。

